TACHITSUTETO
PRESENTS
ORIGINAL STORY & ILLUSTRATION
JOE TAKEDUKI &
YUJI NIMURA

盟約のリヴァイアサン

The Leviathan of the Covenant

VOL 3

作画 舘津テト
原作 丈月城
構成協力／ばう
キャラクター原案／仁村有志

MFコミックス
アライブシリーズ

この先
封鎖工
立入禁

ガラ
ガラ

盟約のリヴァイアサン

VOL. 3

ソフ竜獣

THE LEVIATHAN OF THE COVENANT

VOL. 3

CONTENTS

TACHIETSUTETO PRESENTS

ORIGINAL STORY & ILLUSTRATION

JOE TAKEDUKI & YUJI NIMURA

第9話　ソス逆襲 …… 001
第10話　いにしえの作法 …… 021
第11話　悪路王 …… 057
第12話　眠れる巫女 …… 081
第13話　墜ちる飛竜 …… 113
最終話　南天の弓星 …… 141
あとがき …… 178

見城さん？
どうしてこちらに
いらっしゃるん
ですか？
よう
うちの上司…
柊の姐さんから
指示があってね
しばらくこっちに
出張してミス・アーシャの
便宜をはかることになった
向こうで状況の
説明をさせてくれ

最初に
言っとくけど
「館」付近の1キロ
以内には行けないと
思ってくれ

厄介な魔力が
ばらまかれてな
近づくだけでヤバイ
すっ

こいつで「館」の方を
ちょっと見てみな

水無月(みなづき)!?
あれは――

死んだリヴァイアサンは
地上から消滅するはず
死んではいないが
眠っているのか？
もうずっとあのままで
びくとも動かない
そして非在化もしない
「館」を占拠した
上位種――
ソスって野郎
だったな
そいつが
何かの魔術を
かけたらしいんだ
アーシャ
あれの意味わかるか？

おそらくは
「生命」
「霊気」…
そういう意味合いの
記列だと思います

は…羽純は
大丈夫なの？
水無月があんなことに
なっているのに？
おそらく危害は
加えられて
いないでしょう
盟約者の魔女に
万一のことがあれば
「蛇」も一緒に消滅して
しまいますから

「蛇」は元々実体を
持たない人造生物です
それを地上に
つなぎとめるのが
魔女との盟約です
魔女が死に 盟約が
消滅すれば地上に
とどまるための肉体も
自然崩壊してしまうので
「蛇」がいるってことは
盟約者も無事って
ことですよ
ま…

今、うちの上司が各地の
貴女とスポンサー筋に
事態の収拾に協力して
くれって要請を出し
まくってくる
けど相手が上位種って
ことでどこも尻込み
しているようだ
ごとん
貴重な「蛇」を投入する
にはリスクが大きい…
そういうことですか

あ…
アーシャさん
あの…

ルサールカの死に場所ができたと思うことにしましょう
最期の敵が上位種というのもあの子にはお似合いかもしれません
ちょうど旧東京での借りもありますし

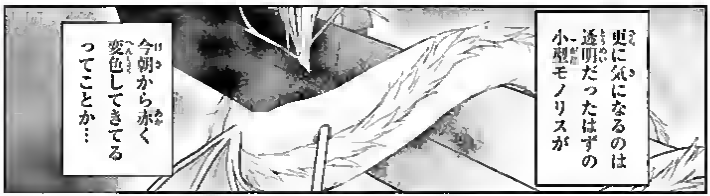
今度は全力のルサールカをソスに見せてあげます

昨日と今日で
随分と変わったな…

ソスの潜伏を受けて
新本場付近に昨日のうちに
避難勧告を発令したしな

周りの区域の住民も
少なからず新都から
避難していったんだろう

アーシャは上位種との
対決に備えて封鎖地域に
詰めている
ソスに囚われた魔女
白坂莉純は「館」に
こもったまま姿を見せない


更に気になるのは
透明だったはずの
小型モノリスが
今朝から赤く
変色してきてる
ってことか…

こんなときこそ
現れてほしいのに
叫川からちっとも
姿を見せないな…
頼みの綱は
アーシャの「蛇」のみ
彼女を補佐できる魔女は
いまだ現れないらしい

今回の敵は眠りの呪文ひとつで
一個師団をまるごと眠らせたり
死の呪詛をばらまいて
短時間で完全勝利できる
ような上位種だ
魔術から身を守れない
普通人は犠牲になるだけ
人間でまだ対処できるような
ラプトルの群れなんかとは
わけが違う
そんな奴相手に
アーシャと
ルサールカだけで…
春賀くん
これ
受け取って

弁当？
誠意のこもった物を持ってきたかったんだけど
わたしに出来ることはこれぐらいしか考えつかなくて…
誠意の量はわからないけど食べ甲斐はありそうだよ
男の子はたくさん食べると思ってたっぷり用意したんたから
誠意っていうからにはこの弁当には何かあるんだね？
お願いがあるの

今日学校が終わったら
春貴くんのうちに
行ってもいい？
ほら…昨日の
お掃除も途中で
やめてきちゃったし
ほかにもいろいろ
あるし…
もしかして
昨日あいつに
言われたことが
関係あるのか？
うん
あとで思い出したら
いろいろ気になる
ことを言ってたのよね
状況が状況だし
わたしにも力に
なれることが
あるなら
――って
かぽっ

今から
うちに行こう
向こうの状況が
どう変わるかも
わからないんだし
早めに動いたほうが
いいはずだ
キュッ
わかったわ
じゃあ続きは
春賀くんのうちで
話しましょう！
しまった
サボりの相談を
大声でやりすぎたか…
ばっ
武藤さん

十條地の体調が急に悪くなったから早退ってことで先生に伝えてもらえるかな？
僕はつきそいで家まで送っていくよ
あうん
了解任せておいて
上手いようにやっとくよ
その代わりといっちゃなんだけどさ——
僕の名前で入部届提出しといてくれ
UFO研究
五人目が必要なんだろ？
ふふっありがとう！

春貴くん
あたしも協力するからね！
思わず気持ちが盛り上がっての二人の逃避行だもんね！
大丈夫！
クラスのみんなもわかってくれるよ！！
キラ
キラ
キラ
……？
まぁ
よろしく頼むよ

第10話

いにしえの作法

【いにしえのさほう】

その辺にいるのか？
それとも僕たちにずっとくっついていたのか？
どっちでもいいからそろそろ姿を見せてくれよ
あんたが目をつけてた子も連れて来てやったぞ
スウッ
ふふ
おまえにしては上出来だ
小僧

蛇を生むべき娘よ
よく来た
妾の申し出に乗る
覚悟はできたか？
やっぱり
あのときの…
あんた十條地にまで
取引を持ち掛けた
のかよ
取引？
そうとは言い
切れないのがこいつの
微妙なところかなぁ…
完全に信用できる
相手でもないから
取引相手としては
おすすめしにくいし
何を言う
簡単にいうと
この間ソスに追われて
助かったのは
彼女のおかげなんだ
じゃあ命の恩人
じゃない!?

妾はこれでもかつては
女王と呼ばれた身
持ち前の茶目っ気をすこし
ばかり発揮して取り柄手を
もてあそぶこともあるだろう
うぶな子供らに悪知恵を
吹き込み 右往左往させて
愉しんだりするかもしれん
だが交わした約定を
たがえることはないぞ

茶目っ気とか
言えるほど無邪気な
存在でもないだろうに…
あなた
昨日言ってた
わよね？
「愛が欲しいのなら
生みの苦しみと
ひきかえに呼び
戻してやる」
みたいな
ことを…

あの夜おまえのために
造られた〝まがいものの〟の雪
あれはまだそこらを
ただよっている
だが問題は
そのあと
妻と小僧が力を尽くせば
あやつを今度こそ現世に産み
落とすこともかなうが——
妻が呼べばすぐに
駆けつけよう
うむ
おまえが笑むので
あれば智慧と
力を貸そう

な 何か条件があるの…？
ちょい
ちょい
うむ こっちに来い 耳を貸せ
カポッ
えっ!?
!?
そ…そのときってもちろん春賀くんには席をはずしてもらうんでしょう!?
バカを申すなこの方式で斬生を成すには小僧が必要不可欠なのだ

こやつにはおぬしの腹の中から「仔」を取りあげてもらう

——!?

にゃ

にゃ

どんなセクハラめいたことを吹き込んでるんだよ

あ、な＋係

だっ

ち ちょっとだけ考えさせてっ

おねがい！

十條地にあんまり変なことを要求するなよ

なに あの演にしても一時の苦しみとひきかえに〝欲〟がいものを手に出来るのだ

コロ

コロ

コロ

それにな小僧
あのソスなる竜
おまえに復讐する
つもりのようだぞ
「処」とやらへ
押し入ったのも
そのためであろう
彼奴め
損らえた〝素がいものの〟
血を吸い出している
血を吸い出す
だって?
竜の種族にとって雄竜や
それに類する生き物の
血は毒のようなものだ
使い道はいろいろだぞ
彼奴の力を奪し
高める劇薬にもなれば
おまえが負わせた
深手を癒す
妙薬にもなるだろう

……
おまえに迎え撃つ気があるのかは知らぬが
あの娘の方には戦う覚悟があるらしい
言うとおりにするのはしゃくだけど…
参考までに訊くけど
例の非常識なしぶとさはどこまで大丈夫なんだ？
どこまでとは？
たとえばソスがばらまいた死の呪文を浴びても大丈夫
とか

ま
この程度の芸ができるほどには大丈夫
かもしれんな
答えになってないぞ…
ケケケ
おまえが前に見抜いたとおり
叙情あふれる芸も指南役としての素養にあふれているとは言いがたいからな
これで十分だ
バカ丁寧に引率してやる義理もなし

あんた
もしかしてチェスを
知ってるのか？
妾はこれでも
勉強熱心なのだ
当代の知識も
ほどほどには
たくわえておるぞ

自称悪魔にして
ドラゴンの亡骸
何百年
もしかしたら何千年も
前から存在しているの
かもな…
ぐっ

ズン
ズン
ズン
ズン
ズン

スッ

ぷるる
ぷるる
ぷるる
いい？
春賀くんっ！
今日これから
することはあれ
医療行為と同じよ！
？
どういう意味
だよ十條地
詳しい説明はあと！
直前にしてあげる
？
とにかく春賀くんを
信じてるからね！
いやらしい気分とかに
なったらわたし絶対
幻滅するんだから
気をつけてよね！
あ ああ
ならば
行くとするか

全ての因縁が
始まった場所に――

でも蒼賀くん
随分と準備が
いいのね…
旧東京に行くと決めて
いたわけでもないのに
通行証を用意してた
でしょう？
何が？
ああいうのを
もらうのって
時間かかるん
じゃないの？
あー…
種を明かすと
なんてことないよ

さっき寄った
〈SAURU〉の
支部にはあれに押す
認め印の複製品とか
機材が色々あってさ
割と簡単に
偽造できるんだ
SAURU
租借地の廃墟エリアに
不法侵入した人間なんて
少ないから自然と
ザルになったんだろう

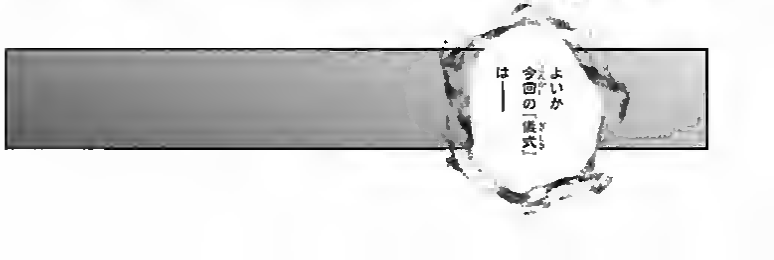
〈SAURU〉の
人たちって結構あやしい
グレーゾーンの住人よね…
僕は副葬品を探すいわゆる
「専業トレジャーハンター」
ってことらしいからね
限りなくブラックに
近いグレー側だとは
思うよ
うぐぐん…

ところで
火之迦具土――
迦具土さんの
ことだけど
あの人どうしてわたしや
春賀くんに力を貸して
くれるのかしらね？
直に訊いて
みたらいいよ
たぶんまともに
答えないけど

おやおや
凛が楽あな姿勢で
魔力しているとは
見わぬのか？
そう言うには
あんたは隙だらけ
自分が多すぎるん
だよな
命の瀬戸際じゃ
なかったらたぶん
まとに相手
しなかったぞ
ふふふ
そう言うな

これでもおまえが
どこぞで野垂れ
死ぬまでは減ながら
見守るつもりなの
だぞ桜は
見守るだけの
冒険譚より
野垂れ死ぬのを
防いでくれる
守護霊が欲しいよ…

ところで「儀式」って
どうやるんだ？
そんな簡単に
出来るものなのか？
今のうちに少しだけ
でもいいからきいて
おきたいんだけど
そう良くてない
着くまではまた
間があるのだ
嫁でもじっくりと
説明してやる


よいか
今回の「儀式」
は——

妖の骸が激減してから
たいして時も経っていない
今ならここに残る
妖の力を集めるだけで
新生の術も
施せるだろうよ

な 何なの
この感じ…

当代の人間どもが
造る〝まがいもの〟
たしか
リヴァイアサンと
申したな
あの街に目をつけ
殺らせたのは見くない
だがひとつ欠陥がある

当代のヤリカでは
贄となる巫女と
【紀】の結びつきが弱い
あれでは巫女が
闇に堕ち魔道に
染まらねばたいした
力も出せぬはずだ
それだけでは
いかんのだよ

此度は奏がいにしえの作法を指南してやろう
神代・古代とくらべたら現代人の魔術的素養は随分と低い
親父も言っていたことだ…
――さぁ来い
さまよえる小蛇の御霊よ
おまえが慕うべき巫女はここにいる
女王の呼び声を聞きとどけろ

スススス
あの晩、アーシャさんが呼んでくれた「蛇」の影…
こんなにあっさり呼びもどせるのか…
さあいよいよ大詰めといくか

小僧
神器を持て
娘は早く
脱げ
もじ もじ もじ
……
もじ もじ もじ
……
ビクッ
じじゃあ
春貴くん
来る途中話した約束通り
直前まで見たらダメよっ
カァ
あぁっ
約束破ったら
たぶん一生
恨むからねっ

じろ――

ふむ やはりな…
奏の見込み通りだ
巫女よ
おまえは実に
育ちがいい
か 副員士さん
いきなり変なこと
言わないで！
何を怒る？
奏は嘘いつわりなく
賞賛しているのだぞ
ふふふ
おまえの赤子はこの
みごとな乳房より乳を
授かりさぞ健やかに
育つであろうな
腰つきも安好み：
栃腰でいながらも
丸みも十分

これなら婦人でも
子を孕めよう
うむ
ちょっと
それセクハラ！
迦具土さん
男の子も開いて
るんだから！
せくはらと言われても
何のことか妾には
とんとわからぬ

まあこれだけ
脱げばよいか
小僧
こちらを向――
だだダメ！
まだ心の準備が
できてないっ

ううっ
み…水着と同じくらいの
露出だし大丈夫
大丈夫…
喜賀くん
こ…こっち
見てもいいよ…

ドキ…。
春賀くん…

すごい真面目そうな顔してるけど
微妙に目がぎらついてない？
いや ほら
僕も健全な高校生男子だし
そこは嘘でもごまかすところでしょう!?
この布やはり邪魔になるかもしれぬな
巫女よぬ――
うむ
うむ
脱がないからねっ
迦具土さん絶対脱がないからね！
ではそこに横になれ

じいっ…
おそらくは――
いや
間違いなくFか…
コク
コク
は 脊賀くん！
今すごく真剣にうなずいてたけど変なこと考えてなかった!?

十條地はもう気づいていると思うけど
僕はこれでもむっつりスケベ
聞きたくないっ
春貴くんもやっぱり男の子なんだって十分理解できたから
恥ずかしくなること言わないで〜
コオオオオ

ボォ
オ
オ
オ
い…入れていいよ…春賀(はるが)くん…
おねがい…

――っ!?

大丈夫ッ
ギュッ
はあっ
十條地！
な…
大丈夫だから
最後まで
続けて…
春賀くんっ
はあっ

はあ
すりっ
な、
ドクン
！

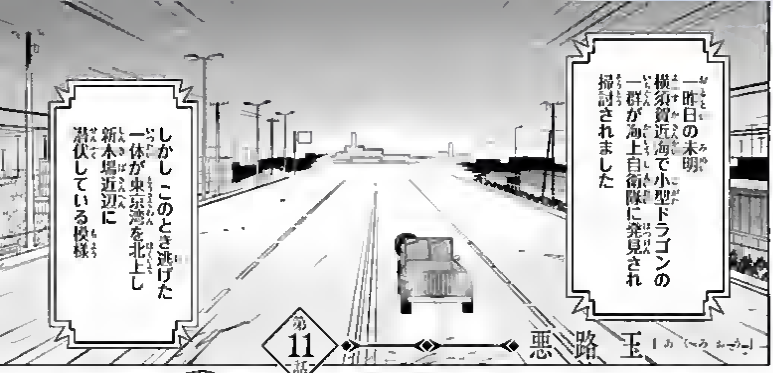
ヴォオオオオ
ああああああああああ!!

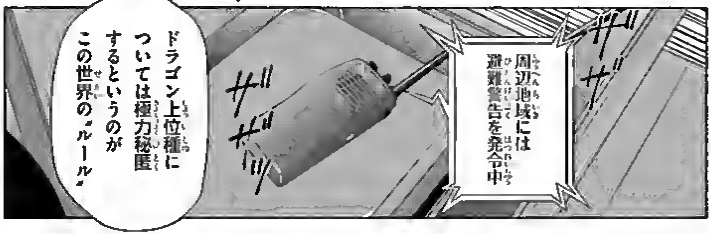
リヴァイアサンの
核になるための形と
性質を変えた…
これが新しい
「心金」！

大蛇がごとき
九尾を背負う…か
あなたがわたしと一緒に
戦ってくれるの…？

ふふ…
こやつにも名をくれて
やらねばいかぬな
巫女よ
当てはあるか？
えっと
急に思いつかないけど
かっこいいのがいいかな
この子クールっぽい
感じの美人だから
そういうのが似合い
そうよ
美人って

まあそう
言えなくもないか


一昨日の未明
横須賀近海で小型ドラゴンの
一群が海上自衛隊に発見され
掃討されました
しかし このとき逃げた
一体が東京湾を北上し
新木場近辺に
潜伏している模様
第11話
悪路王


周辺地域には
避難警告を発令中
ドラゴン上位種に
ついては極力秘匿
するというのが
この世界の"ルール"

今回新都の行政部が
作ったお話はそういう
ことになってるんですね…

第11話
悪路王
「あくろおう」

それにしても…
本当なら日本国内にいる数名の魔女と「蛇」をすべて召集し力を合わせてソスと対決すべきだというのに
中欧に「黒の雷帝」が隠れすむヨーロッパ「紅きハンニバル」の膝元である北米なんかとは違って
日本の魔女関係者は上位種に対しての問題意識が低すぎです…
もう少し時間があれば日本国外から人を呼ぶこともできたのに…
死の呪詛が濃い…
ルサールカおねがい
ポウ

オオ
ハアアアア
よし

愚に呼びつけて
すまなかったな
死すべき種族の乙女よ
オオ

ラーク・アル・ソス…
オオオオオオ
諸悪らの元凶と
早急に会いたい
あなぬ軍団は変身けと
共に悪らっ都へ向い降り
火遊びを楽しまやて
もらうとしよう
あなたの声のせいで
私が一人で来る
ことになったんですよ…
どういたしまして
おかげさまでそういう姿に
変身したあなたたちを
この目で見ることが
出来ました
私 最前線以外で
上位種と出会った
のは初めてなもので

上位…ふふ
君たちは我らジズーを
そう呼ぶのか
なに 手慰みに
学んだ術を久しぶりに
使ってみたのだよ

素直に言わせて
いただくともうすこし
地上的――
人間的な姿でも
いい気はします
あなたたちの魔術なら
人間そっくりに変身
することも簡単そう
なのに

無論できるとも
しかし断固してもらおう
竜の理法は本来統べいた
者に変化せぬことを誇りと
すべき生き物
そうでない個体も
いるにはいるが…
すくなくとも
ラーク・アル・ゾスの
流儀ではない

ところで私を招いた理由
訊いてもかまいませんか？
一応決闘状をいただいた
ものと解釈していましたが…
そのような
ものではある

だが補足させて
もらうなら
私は今
君との戦闘域上に
意義ある抗戦を
試みえていてね
そのために力を
たくわえているのだ

あのモノリスもどき――
あれがあなたの「力」ですか？
すぐにわかる

君が呼ぶ
〝まがいもの〟の血も
足しにさせていただきたい

それよりも今は…
闘争を愉しむべきだぞ！
〝まがいもの〟とはいえ
我らに近き種族の齧竜よ

礼を言うぞ！
雌竜の血よ！
我が復活を成就せしめよ！
ガッ
ア
ア
ア
オオ

ぐおおおおおおっ！
傷が…
癒えていく…！
この魔術のためにリヴァイアサンを捕らえたのですか!?
オ
オ
オ

うむ 雲がぼふ
〝まがいもの〟の
血も吸い出し
我が糧にしてくれよう！
あれは――
上位種のドラゴンの
多くが持っている
魔力の制御を助ける
「魔導の杖」！
古き清浄の御印に
願い奉る！
かりそめの蒼き竜を
地上に遣わしたまえ！

ルサールカ…
これが最後かも
しれないけど
私と共に!!
キュアアアアアアッ!

邪視!?
《跳躍力強化》
晴臣も織姫さんもいない今夜は存分に戦える！
私たちも仕掛けましょう！

全力全開

そして全速で!!

ルサールカ!
擬似神格を遠隔攻撃のみに
集中させて投射!

ルルク・ソウンの秘文字よ！
ゲヤア
我が内なる獣を解き放て

魔導の杖よ！
アアアア

スウッ
影の向こうに消えなさい
む!?
眷属神格は
リヴァイアサンの属性
普通は一つの属性しか
持たないもの
強力な魔女と契約する
【証】は第二の神格に
目覚めることがあります
普段ルサールカの属性は
もちろん〈水〉ですが
ルサールカは〈水〉と〈月〉の
神格に目覚めた稀少な
二属性リヴァイアサン――!!
オオ
オ

ルサールカ！
ソスの哨笛を
吹き飛ばして！
むん！

避けた分だけ
届きませんでしたか…
でも！
おおおおっ!?
手負いの鳥で
みごとなものだ

閃光の息！
どうやら手加減は要らぬと見える！
ハボネスの羽トカゲどもよ

我が契約
我が召喚となるため来たれ！
ラプトルの召喚!?
ソスと戯いながらこの数を捌くのは…
悪路王！
あの連中を蹴散らして！

「蛇」を新生させるにはもっと時間が必要だったはず
それなのになぜ？

ふっ
なんとか間に合ったみたいね
助っ人に来たわよアーシャさん！
オ
オ
オ
オ

第12話
【ねむれるみこ】
眠れる巫女
悪龍王…
それがあの子の名前ですか？
ええ
みんなで候補をいくつか考えて一番かっこいいのを選んでみたの

はじめての戦闘にしては心が乱れていない
この冷静さはどこから…
戦うのも大丈夫…だと思う

どうすればいいのかわたしにはよくわからないけど
あの子――悪路王が守ってくれるしまかせろって言ってるから
あの「蛇」が生まれたばかりなのに!?
「蛇」の加護は勧誘や恐加心からもある程度守ってくれる
でもここまでの加護を得るには第三段梯クラスの力が必要なはず――

さっそくですが
当てにさせて
いただきます
いいですね？
ええ こういうの
はじめてだからどこまで
力になれるかわからない
けど…
何でも言って
がんばってみるわ!!
もし可能なら一匹の
疑似神格を覚醒させて
ラプトルたちを
焚き払ってください
無理でしたら私の
ルサールカに――
ううん大丈夫
悪路王がすごい
やる気になってる！
ゴオオオ

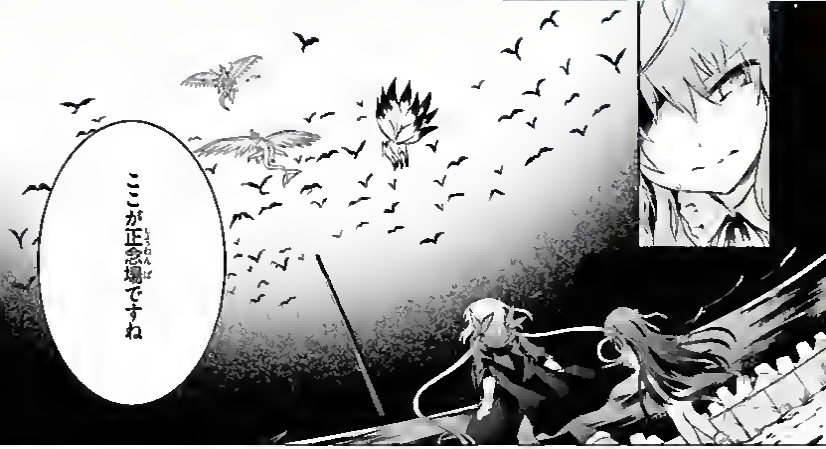
ドドド

ルルク・ソウンの秘文字よ
灼熱の烈びを示せ!!
ルサールカ
擬似神格を『水』に変化!
あなた自身も
『聖なる水』に
変わりなさい!
これで
三度目…
燃え殻となるがいい
〝まがいもの〟よ!
この前の夜とは
比較にならない火力
直撃を食らったら
いくらルサールカでも…
ゴオオ

でも今は――
む!?
今のルサールカは
輪郭を持った液体の
かたまり
そんな攻撃
ききませんよ!

ルサールカ！
ぐおっ!?
ふふふふ
死にかけた体で
よく戦うものだな…
ルルク・ソウンの紋文字よ
見えざる手を我がものに！
キィィ
キキ
キキ

ルサールカ！
キュアアアアアアアッ!?
ドリ
ドリ
使える擬似神格は
残り2回 明日の夜
まで使えなくなる
いえ
それよりももう…
あと2回保つかどうか…


ここが正念場ですね

たたっ
あの娘には
最強王もついている

仕上げた姿が言うのも
なんだがなかなかの
出来物だぞ
そうかんたんに
巫女を死なせは
すまい
と言われても
そのあたりの見当は
つかないからなぁ…

ところでさ
不親切な冒険者の
あんたはここから
まったく当てに
できないってことで
いいのか？
手伝う気があるなら
ボランティアして
くれてもいいんだけど

バカを言うな
他人以上に自分を
可愛がりたい口だぞ姿は
わかりやすくて
いい答えだ
ここからはひとりで
どうにかしてみるよ
だが小僧…
手伝いが必要なら
さっき別れる前に巫女を
口説き専属としておく手も
あったはずだが？

口説く…？
うむ
それともまだ
気づいていないのか？
ふふ
あれだけの魔力が働き
蛇が産まれ落ちる瞬間に
立ち会ったのだ
お姫にとってもいい
刺激になったはずなのだがな
うるさい
適当なことしか言わない
つもりなら黙ってくれよ
あんな近くで
アーシャたちが
戦ってるんだぞ
「姫」の方だって
いつ巻き添えに
なって喰われるか
わかったもんじゃない…
ソスと戦うことは
できないけど
せめてこれくらいは
しないと――

これはまずいぞ…
くそっ
死んで
たまるか！

……あれ？
冷気を全く
感じなく…
なった…？

我ながらよく
生きてるもんだなあ…
なあ小僧
おまえひねくれている
割にお人好しだと
言われる事はないか？
命の保証もないまま
見ず知らずの娘を
助けるためよくも
まあここまで――
これでも褒めているんだぞ
男は少し間抜けな方が
可愛げがあっていい
いいから
黙っててくれよ…
死の魔力が満ちる館内だ
一定以上の温度を持つ
物は限られてくる…
これで見つけやすく
なるはず――！
《高温感知》

本当に天使みたいな子だったんだな…

ゆさ
眠っている…
いや
眠らされているのか？
こういう時のための道具を…
ゴソゴソ
ピタッ
でも腕力だけで「眠り姫」を連れ出すのはちょっときついなかといってドラゴン上位種がかけた魔術を僕が解呪できるとも思えない
どこかにストレッチャーでもあればいいんだけど
僕が視る気になったから魔術的視覚が発現したわけか…
カァ
ア
ア

なぜだこせない
と思う？
おまえが呼べば
必ず現次の——
蛇の賢たる乙次の
心には届くだろうさ
……
君…
起きられる…か？

ビクッ
むくり
ばっ
……
きゃあっ
ぶん
えーと
僕はあやしい者じゃないよ
ぶんぶんっ
乙女の寝所に忍び入り
しどけない寝姿を鑑賞
しておいて世迷い言を
ゴゴゴ

はいはい
いや
いや
大声をだして
すいません
ところでわたしは
どうしてここに…
たしか中庭にいて
それから変身した
ドラゴンと会って…
うん
君はソス…
その上位種に
つかまっていたんだよ
僕は君の従姉妹の
十條地さんの知り合いだ
春賀晴臣っていう

おうかがいしたことがあります
〈S.A.U.R.U.〉の方で戦姫姉さまの新しいお友達だと
十條地は今取り込み中でね
僕が様子を見に来たんだ
そうでしたか…
ところで春貴さんひとつお尋ねしてもよろしいですか？
この館のなかは普通の方にはとても危険なはずですけどどうして？
簡単にいうとちょっとした特異体質だよ
特異体質？

こいつを活かして
人知れず覆面ヒーローとして活躍する予定はないんだけどさ
予定は未定だから
まだ秘密にしておこうと思うんだ
協力してくれると助かる
はあ
こくり
十條地と違って控えめな性格で助かる――
そうですか…
不思議なこともあるんですね…

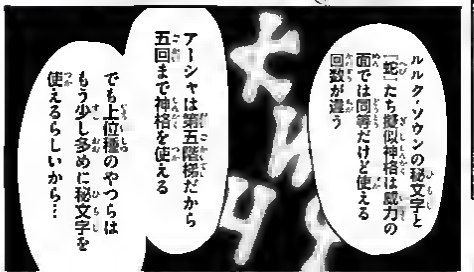
……？
ど…
どうしたんだい？
ふっ
あいえ
なんだかおもしろそうなお話なので
よかったら今度ゆっくり事情を聞かせていただけたらうれしいなと思って――

爆発…!?
ドラゴンたちがあんなに!?
それに「蛇」が二体も…

十條地と
アーシャ
僕の友達の
リヴァイアサンだ！
君を捕らえた
上位種と
戦ってるんだよ
でもちょっと
苦しそうだな…

あれは上位種の
ドラゴンだけが使える
魔法なんですよね…？
ああ
『ルルク・ソウンの秘文字』
ってやつだよ
魔力への耐性が強い
リヴァイアサンには
あれしか通じないんだ

《念動力》の
魔術記号か！
ルサールカを捕まえて
動けなくしてから聖水化を
《解呪》するつもりか…


ルルク・ソウンの秘文字と
『蛇』たち擬似神格は威力の
面では同等だけど使える
回数が違う
アーシャは第五階梯だから
五回まで神格を使える
でも上位種のやつらは
もう少し多めに秘文字を
使えるらしいから…

小型モノリスが消えてる？
水無月!?
オオオオオオ
実体があるってことはまだ死んでないよな!?
はいはい
もう苦しまなくても大丈夫だから…

ここから早く逃げて！

魔女が命じればすぐにリヴァイアサンは消えうせる
ほう

ソスはこれを恐れてこの子を眠らせたんだろうか…
水無月を消されると困るかといって盟約者を殺せばリヴァイアサンも死ぬ

この子が無事だったのは――
あいつが水無月の「血」とかを利用するつもりだったおかげか…

ギロ
ウリ
イイ
キイ
——そうか
「蛇」を消せるのはパートナーの特権
じゃあ誰が羽純の眠りを解いたのか
——
そうだやつの目的は…

《僕だ》

我が眠りの地より
巫女を呼び起こす――
やはり郷愁であったか
僭主よ
人を勝手に変な肩書きで呼ばないでくれよ…

かりそめとはいえ
屠竜の弓を握ったものへの
敬意と思っていただこう
先にあの
まがいものらを征服し
あやつらの血も吸い尽くして
からと考えていたが
再戦を約束した両名がここに
そろった以上いたずらに決戦を
のばすのも無粋というものだな…
地竜の血より起こした
焔を浴びて我が必金は
最大限に昂ぶっている
屠竜忍技を模倣する
ことも今ならばかなおう
ここで私も竜狩しとなり
御身に挑むが天命と見た！

無縁だぞ
〝まがいもの〟よ
これよりは暴走に終む
我ら〝聖獣〟のはじまり
竜の種族にとって
我も母も聖獣…
邪魔をいたすな！
この焔…

あのときと
同じ色…
まったく
次から次へと…
困ったものだね

第13話

［おちるワイバーン］

墜ちる飛竜

天上に輝く
ルルク・ソウンの星霊よ
秘文字のなかの秘文字よ
我、ラーク・アル・ソスに
竜狩しの刃を授けたまえ！
グッ
グッ
グッ
り…
竜狩し…？

悪路王！
さっきの魔法
もう一度できる？
ええっ!?

擬似神格にはいつも
防御のルーンを展開して
身を守っていたのに
これは一体…
さっきルサールカが
つけた左肩の傷が
治ってる!?
邪魔をするなと
すでに言っておいたな

ピカッ
悪路王!?
動いて！
攻撃しなくてもいいから
せめてあの剣を避けないと！
グ
グ
グ
くくく
〝まがいものごとき
天敵たる雷鉄しの威に
歯向かえるわけもなし
ここで終をさらすがいい!!
――っ!!

ルサールカ！
物理攻撃だから
大丈夫なはず――

キュアアア

あの「剣」は聖水すら
断ち切る聖威を宿しているっていうのですか…
アーシャさ――
織姫さん！

悪路王はまだ神格を使うことができますか!?
うぅん
あと一回だけなら大丈夫みたい…
やはり第三階梯クラス…
予想通りですがとても新人とは思えない力ですね
なら最後の擬似神格は直接攻撃ではない形で使う方がいいでしょうね

わ
わかった
それでアーシャさんの「蛇」は…?
まだ死んではいないようです
ただ 人間でいうと意識がだいぶ朦朧としているみたいで
私が呼んでも応えてくれません
だったらアーシャさん
わたし しばらくひとりでがんばってみるわ

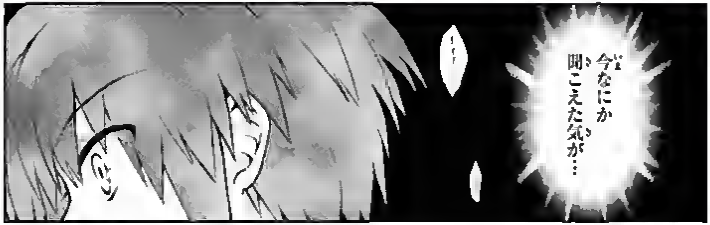
そんなに長く
保たせられないかも
しれないけど
でもその間に
あの子…
ルサールカの状態を
確かめてきて！

鏡姫さんに協力してもらって
戦いをバックアップする
つもりでしたけど
ルサールカのそばに
行くことができれば
最期の力を引き出して
擬似神格の行使を命じ
られるかもしれない
それに何より――
まかせても……
いいんですか？

ええ わたしには
悪銘王がいるもの
それと同じよ
ルサールカが
死にかけているなら
あの子には
アーシャさんが
ついて
いなくちゃ！
ありがとう
ございます！

《跳躍力強化》
ルサールカ！
おねがい
私の声に応えて！

ルサールカがやられた!?
え…?


今なにか
聞こえた気が…

これは…
でもなんでこんな
いや今は
そんなことは
どうでもいい！
ルサールカは
生きている！

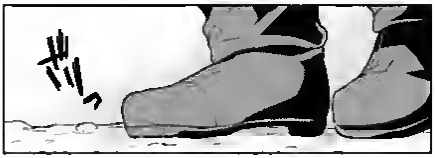
でもこのままじゃ
ダメだ
力がいる…
あの…
春賀さん…？
悪い ここからは
ひとりで行って
くれるか
とりあえず警察や自衛隊の
人たちがいそうな方向に
歩いていけばどうにか
なるはずだ

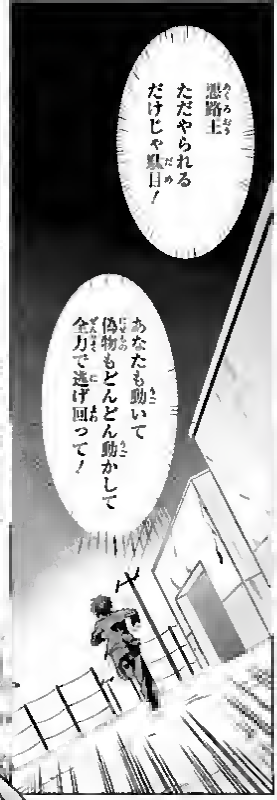
この状態で放り出すのは
ちょっと無責任だとは
自分でも思うけど
行かなきゃいけない
ところがあるんだ…
…わかりました
わたしは大丈夫です！
ちょっと悪魔の片棒を
かつぎにいってくるよ！

『蜃気楼』の擬似神格か！
饗宴よ
どうやら御身も刃を抜くつもりと見た
ならば私も新たな武具を揃えよう
我が竜装しは あくまで模倣にすぎぬ
…が
これで終わりというわけではない！
十探地と悪路王を結びつけたときに僕もいくらか霊的な縁ができたんだな…
悪路王！
どれが本物かわからなくして
かんたんにやられないようにするの！

かりそめの秘儀よ
ボッ
ボッ
我がために屠竜の王権を今一度示せ！

己が眷属を屠竜の
軍勢に変え将として
率いるか
ジュウ
あやつめ
あそこまで竜狩しの大法を
真似るとはやるものだ
よく魔道を学んで
いると見える




愚路土
ただやられる
だけじゃ駄目！
あなたも動いて
偽物もどんどん動かして
全力で逃げ回って！

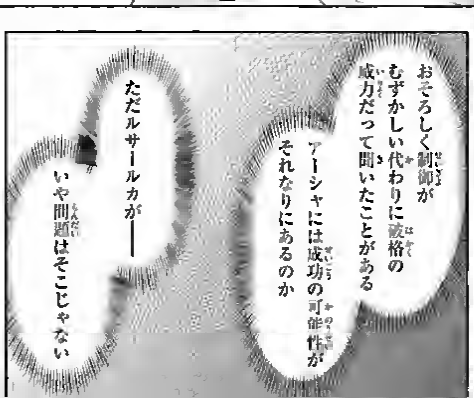
晴臣…

どうして…
どうやってここに？
このあたり一帯は
《死の呪詛》が…
そこを話す時間は
ないから省略
させてくれ

ルサールカはどうだい？
はいはい
もう駄目でしょう…

今ルサールカとのつながりを一時的に強くしたところです
この子はまだ神格を二回分残していますから最期にまとめて使わせます

それでソスを狙撃して…
神格二重発動


おそろしく制御がむずかしい代わりに威力だって聞いたことがある
アーシャには成功の可能性がそれなりにあるのか
ただルサールカが——
いや問題はそこじゃない

それだけじゃいけない
たぶんそれでもソスにはかなわない
え？

あいつはどうもね
僕らが知ってるどんなドラゴンよりも
強くなってるみたいなんだ
もしかしたらカエサル――
竜王級の連中に匹敵するくらいに
カエサル・ドラコーニスですか？
上位種の中でも極めつけのドラゴンたちですよ？
只一体だけでも地球人類の掃滅を成し遂げかねないほどの怪物ですよ？

アーシャ…
一緒にあいつを
ルサールカには
「力」が必要だ
そして僕には君たちが
必要なんだ
は…晴臣？
ソスのやろうを
ぶちのめさないか？
僕は「悪魔的」な取引を
するつもりはない

ルサールカと君が…
アーシャが僕にはどうしても必要なんだよ！
これが僕なりの誠意だ…
それはつまり…

私が欲しい
私の全てを自分のものにしたい
もじ
…的な意味ですか？
もじ
全てじゃないけど君の大事なところを僕にゆだねてほしいというか
は 晴臣！この緊急時にバカを言わないでくださいっ
そういう告白は時と場所を考えるべきですっ
非常識です！大バカです！

い…今の
申し込みのことは
無事に帰れたら
じっくり検討します
む…
胸の奥に大事にしまい
こんでおきますから…
キュッ
アーシャは受け
入れてくれる…！
あのときと
同じ…
今の僕は
竜の系譜につらなる
人間と心を通わせる
ことが出来るんだ！

――恋路王!?
よかった
相当な深手を負ってはいるけど生きてる

見てのとおりだ
私の方はいつ
はじめてもかまわんぞ！
悪い
時間がないから
このままいかせてくれ！

え？
晴臣？

こ――
この力は!?

最終話

しぶんのゆみぼし

南天の弓星

魔力！
どうして唐突に
こんなことが……
この秘文字との間に
「魔術の絆」が――
ルサールカにある
絆と同じような
絆を感じます

これは晴臣の…
頼むアーシャ！
ははい
ルサールカ!!
もう一度立ち上がって…

これは…
あのときの焔(ほむら)！

ふふふふ
待ちかねたぞ御主(ヌシ)

今こそ
決戦の時ぞ！

その手でたしかめろ！
己が眷属を
「竜殺し」と成す
屠竜の技…
そうだ
ソラことさの
技など所詮は
真似事にすぎん
おまえに託した
本物の力
おまえの秘文字
たる「南天の弓星」
に命じて
今こそ屠竜の弓を
射るがいい！
南天の弓星
意外と立派
そうな銘が
あったんだな…

前回より明確に
使い方がわかる
依り代になっている
ルサールカとも
繋がっているのを
感じる
ルサールカ
この秘文字を使って
「弓」の魔術を使ってくれ
オオ
オオ

オ
オ
オ
オ
いける！
撃て！
ルサールカ
凍える息！

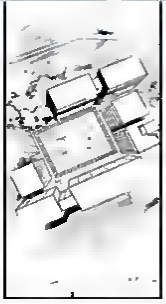
これが今回の「弓」から放たれる竜狩しの矢
つまり主にしたがうドラゴンの射撃能力を高める魔術ってことか…
ドラゴン族の魔力やリヴァイアサンの疑似神格にルルク・ソウンの最上位文字をかけあわせた
竜族殲滅を目的とする魔術射撃――
猟りの王よ
我が叛逆の絢を
受け止めよ！

ソスとかいう小僧
たしかによく
魔道を修めている

だが所詮は蓬石も
持たぬ身で為した
真似事よ
こちらも〝まがいもの〟
とはいえ…その程度で
祓れるほど
この『弓』が
惰弱だと思うな！

《月の秘文字》の攻撃を使いきっていない――
まだあと一発残っている！
もう一発…
狙い撃て！
くっ！
杖すら持たぬ僧王の『弓』など！

キュオオオオオオオオオ



…南天の弓だと

誰かが使ったのか？

我が身に宿す「星竜の盾」

女王の目にかなう者がいたか

感じたのは地上の何処かということだけ…

あるいはみごと撃い取ってみせたのか…

これと対をなす武具を誰かが撃ち放ったのか

面白い
久しぶりに
地上へ降りよう
ではないか

こんなことってありえないわ
わな
信じられない…！
わな
…
この件については僕らふたりとも不用心だったよ
仕方ない
でもわたしが春貴くんにお弁当を毎日作ってあげていて通い妻で家事とかも全部しているとか…！
こんな根も葉もないうわさが学校中に広まってるのよ!?
十條地どれも一応根っこくらいはある話だ

ここをこんな風にしたのは
この数日まめにうちへきて掃除をしていた他でもない君だよ
大体さうわさになるのがイヤならこの家に来なけりゃいいんだよ
それなら大丈夫
とりあえず最低限片付けて足の踏み場くらいはできたし
今度は羽純も連れてくるわ
…ってあの魔女の子もここに？

本当に？
ええ
羽純も春賀くんのこと気にしてたしちょうどいいわ
ラス戦の後白坂羽純はひとまず検査入院させられた
しかし体に異常はなく無事に退院できたと聞いてはいたけれど――
彼女の「蛇」水無月の方はどうだって？
よくないみたい
生け贄にされたのがひどいダメージになったとかで治りがすごく遅いらしいわ
なるべく長く休ませてちゃんと回復させてあげなきゃね
「蛇」の再体は一二週間もあればかなりの深手でも回復する驚異さをもっている
それでも時間がかかるってことはよほどのダメージだったんだな…
悪路王が順調に回復してるのが救いか…

傷といえば
アーシャさんの
「蛇」の方は？
前よりはまし
みたいだ
ソスを倒したあと
「あの力」の影響
なのか
死にかけよりは
すこし健康くらいの
状態にまで持ちなおした
らしいから
良好ってわけでも
ないけど ソス戦が
最期になると
思ってたから
少しびっくりしてるよ
まいったのは
そのあとだったよ…
報告が大変
だったんでしょう？

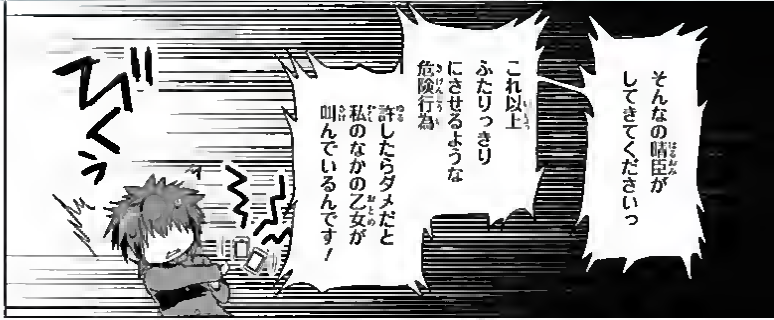
あ 晴臣
もうすこしあとになりますけどそちらに寄らせてください
見せたいものがあるんです
この間のやりなおしもしなきゃいけませんし…
そわ
やりなおしって？
ほら お昼を作って私の女子力を証明するって言ったじゃありませんか
買い物と用事をすませたら晴臣の家に行きますから
そりゃ偶然だな
あのときといっしょでちょうど十條地もいるよ
？

え……っ!?

あ あの晴臣
勘違いしたら
いけませんからね?
織姫さんが晴臣をかまったり
家の掃除をするのはあの人が
とても親切だったり
天然だったりするからです!
晴臣を男性と意識していて
気を悪くしたいから…
なんて可能性は100億に
ひとつもありませんから
勘違いしたらダメですよ!
そんなアホな勘違い
誰がするものか

もじ
もじ
だったら
いいんですけど…

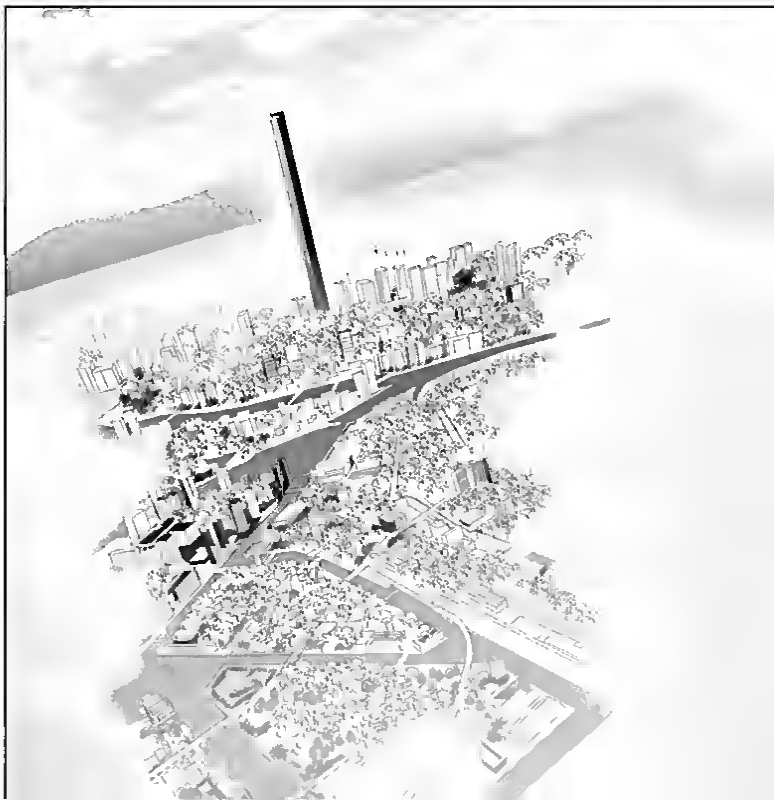
あ そうだ
今からすぐに
お邪魔します
買い物するんじゃ
なかったのか?


そんなの晴臣が
してきてくださいっ
これ以上
ふたりっきり
にさせるような
危険行為
許したらダメだと
私のなかの乙女が
叫んでいるんです！
ビクッ

…アーシャ
さんから？
もしかして
これから
来るの？
メッセージ
ドドドドド

お…お待たせ
しました!!

私 おふたりのいる
学校に転入することに
したんですっ
これからは同じ高校に
通う仲間としても
よろしくお願いしますね！



THE LEVIATHAN OF THE COVENANT

VOL. 3

End

TACHIBANA TO PRESENTS

ORIGINAL STORY & ILLUSTRATION
JOE TAKEUCHI & YUJI KIMURA

著者
[鏡津テト]
コメント

盟約のリヴァイアサン　コミカライズ3巻

館津テトです。お手にとって頂き ありがとうございます!!
この3巻で一旦コミカライズ版は終了となりますが、原作小説の方はまだ続いておりますので興味を持たれた方は、ぜひそちらをよろしくお願いします(ω)
『リヴァイアサン』を始める前は、ドラゴンなんてほとんど 描いたことがなかったのですが、今や ウロコ綺麗!! カッコイイ!! と思えるくらい好きになりました。
大変良い経験になりました。本当に ありがとうございました!!

Special Thanks!!
丈月城 先生、仁村有志 先生
はうさん、ふちマルさん、
各担当 様方、AFTERGLOW 様、
アシスタントさんたち

盟約のリヴァイアサン　3

2015年2月28日発行 ver.1.0

著者　　館津テト
原作　　丈月城
発行者　　三坂泰二
編集長　　上方隆
発行所　　株式会社KADOKAWA
　　〒102-8177
　　東京都千代田区富士見2-13-3
　　03-3238-8745（営業）
編集　　メディアファクトリー
　　0570-002-001（カスタマーサポートセンター）
　　年末年始を除く平日10:00～18:00まで
©Teto Tachitsu 2015
©Joe Takeduki 2015
http://www.kadokawa.co.jp/

※無断で複製・複写・データ配信などをすることは、かたくお断りいたします。

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました
MFコミックス アライブシリーズ
盟約のリヴァイアサン　3
発行日　　2015年2月28日　初版第一刷発行

BOOK☆WALKER